

ふれあい情報

速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)
 ■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 Tel:03-5295-0507 Fax:03-5295-0541
 <e-mail>tais yokusharengo@sv.rengo-net.or.jp

2013年8月23日(金) 第164号

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

第1回幹事会

■第2回9・15実行委員会■

2013年度・新体制スタート

阿部会長 力合わせて目標達成訴え

退職者連合は8月20日(火)、連合本部3階A会議室において2013年度のスタートとなる第1回幹事会を開催。第17回定期総会で決定された運動方針に基づいて当面の取り組みなどを確認しました。



国民会議の最終報告を批判

幹事会の冒頭、阿部保吉会長があいさつに立ち、まず第17回定期総会の成功に感謝を述べ、続いて7月に行われた参議院議員選挙について総括。「退職者連合は連合とともに総力をあげて闘ったが、民主党は大敗した。一言でいえば与党時代は与党らしい選挙ができなかった。野党になって野党として闘えなかった。つまり野党になったら与党との違いを明確にすべきだった。とくに社会保障制度の改善に向けた取り組みが不十分だった」と厳しく指摘しました。

また8月6日にだされた社会保障

△第1回幹事会であいさつする阿部保吉会長。(20日、連合会館)

制度改革国民会議の最終報告に触れ「評価できるところもあるが、高齢者への負担増や判断の誤り、約束違反がある。退職者連合として専門委員会で検討して見解と今後の対応方針を出していきたい」とのべました。あわせて会長は、社会保障をめぐる現役と高齢者の世代間対立を煽る風潮を批判。「対立を煽っても改善は不可能だ。非正規などの雇用問題を解決しなければ社会保障改革は永久に実現しない」とし、「現役と一緒に闘っていききたい。皆で力を合わせて目標を達成していきたい」と決意

<第1回幹事会・内容>

I. 承認事項

1. 会計業務担当者選任について
2. 常任幹事の選出について
3. 幹事の辞任と選出について

II. 報告事項

1. 第17回定期総会について
2. 事務局の業務分担について

III. 協議事項

1. 第1回組織代表者会議について
2. 専門委員会等の設置と委員の委嘱について
3. 介護保険制度改革に向けた取り組みについて

IV. 当面の日程

<第2回9・15実行委員会>

を明らかにしました。

常任幹事に川端さん、太田さん

新しい常任幹事については、規約第10条に従って川端邦彦さん(自治退)と太田敏夫さん(農水退)が選任されました。また、規約第21条による会計業務担当者には、菅井義夫事務局次長(UAゼンセンニア友の会)が選任されました。

なお、8月2日付けで鉄道退職者の会から届け出のあった飯田勉幹事の辞任を承認し、同会の鈴木好代さんを新たに幹事に選出しました。

専門委員会が始動開始

2013年度の医療・福祉専門委員会と年金専門委員会の担当副会長・委員長及び各委員もこの日の幹事会を受けて以下の通り確認されました。両専門委員会はさっそく9月9日(月)13時30分から連合会館で合同委員会を開きます。主な内容は、介護保険制度改革に向けた取り組みと社会保障制度改革国民会議の取りまとめと今後の対応についてです。

年金専門委員会

○担当副会長 川島 靖 副会長
○委員長 太田敏夫(農水退)
○委員 野田那智子(自治退)、岩河吉美(NTT退)、高橋フミ子(郵政退)、竹田邦明(日退教)、鈴木好代(鉄道退)、須賀章徳(日産エルダー)、佐藤光雄(JR退)、丸山清(電機連合OB会)、平田英男(全たばこ退)、橋村良夫(JAMニア)、吉田鈴江(PUC退)、柴田哲夫(N退協)、小栗啓豊(基幹ニア)、唐沢脩(全造船高退)、佐藤潔(全印刷退)、池田捷治(神奈川ニア)、事務局



医療・福祉専門委員会

○担当副会長 白井百合子 副会長
○委員長 川端邦彦(自治退)
○委員 五十嵐久(郵政退)、松淵昂(日退教)、小野美代子(全国退女教)、石川昇(林退会)、熊崎清子(UAゼンセンニア)、古谷徳重(都市交退)、大熊勝明(JR総連OB連絡会)、井田隆重(私鉄高退協)、園田順子(全たばこ退)、芦沢春樹(全水道退)、青木研一(PUC退)、北岡孝義(総評退)、宮崎安基(東京高退連)事務局

地域参加で委員会強化へ

組織拡大や社会貢献活動、自治体要請など地域の位置付けと役割が重要になってきていることから、地域代表を組織強化委員会の委員に加えることになりました。

組織強化委員会

○委員長 赤尾卓美(UAゼンセン)
○委員 福田利久(自治退)、川島靖(郵政退)、白井百合子(全国退女教)以上副会長。宮崎安基(東京高退連)、池田捷治(神奈川ニア)事務局長

委員長に福田副会長

男女平等参画委員会

○委員長 福田利久(自治退)

△幹事会では、対政府要請などで熱心な議論が行われた。(20日、連合会館)

○委員 野田那智子(自治退)、高橋フミ子(郵政退)、寺井律子(日退教)、小野美代子(全国退女教)、熊崎清子(UAゼンセンニア)、園田順子(全たばこ退)、吉田鈴江(PUC退)事務局



組織拡大の取り組み報告

「現退対話行動」の

期間を延長

幹事会では、組織拡大に向けた現退一致の取り組みとして中央・地方退職者組織に要請した「現退対話」行動について、重点期間(3月～6月)のとりまとめを行うとともに、今後の対応について連合と調整結果を確認し、引き続き継続して取り組みを行うことを以下の通り決めました。

1. 実施報告(8月19日現在)

(1) 中央退職者組織

①実施した 8組織

(日退教、日産エルダー、林退会、全たばこ退職者の会、全水退、PUC退職者の会、N退協JR連合)

②報告なし 16組織

(2) 地方退職者組織

①実施した 18組織

(秋田、山形、群馬、山梨、長野、静岡、愛知、岐阜、福井、滋賀、鳥取、岡山、山口、愛媛、福岡、長崎、熊本、鹿児島) なお、秋田・群馬は再調整。

②報告なし 29 組織

2. 今後の対応について

○重点期間を延長する

①理由 現退対話行動の趣旨を徹底するため。

②延長期間

2013年9月30日(月)まで

③実施報告締め切り

2013年10月25日(金)まで

フード連合本部、運輸労連

本部をオルグ訪問

退職者連合の羽山事務局長、菅井・林両事務局長次長と連合本部金田次長は、8月9日午前、フード連合本部を訪問し、松谷会長代行と森下局長に組織化を要請。午後には運輸労連本部で中村副委員長と野村書記長と会い、組織拡大での協力を要請しました。

連合に総会報告

退職者連合の羽山治美事務局長は7月26日に開かれた連合第22回中央執行委員会に出席し、退職者連合第17回定期総会の開催について報告しました。その中で羽山治美事務局長は1000万連合実現に向けた取り組みと連携して退職者連合の組織拡大を推進していくこと、政策・制度の実現に向けた現退一致、現退一貫の取り組みを行っていきたいとあいさつしました。また、同席した菅井義夫事務局長を退職者連合事務局の新しいメンバーとして紹介しました。

お達者だより
南から北から

車イスの清掃・整備、もちつき、ソバ打ちで活動中!

(報告) 茨城高退連合

事務局長 仲田勝一

私たちの団体は、「水戸五八・五八会(みとごや・ごやかい)」と称し、1984年5月8日に発足しました。来年で結成30周年を迎えることとなります。現在の会員は28人で、女性会員も5人います。平均年齢は、約70歳です。

会のモットーは「無理をしない」「共に楽しむ」ことです。これが長続きの秘訣かと思えます。私たちの会は、ユニークな名前と黄色いハッピーで広くアピールしており、地域に

しっかりと定着。親しまれ、愛されております。

会の主な活動は、地域の社会福祉施設が行う夏祭りなどの各種行事をはじめ、地域内市民センター行事などの手伝いや参加・協力。小学校児童へのあいさつ運動などを取り組んでいます。変わったところでは、車イスの清掃・整備、もちつき、ソバ打ち、市の花火大会翌朝のゴミ拾い活動などがあります。

また、会員の親睦をはかるため、年に1回、研修親睦旅行を行っており、2年連続して東日本大震災被災地(福島県・茨城県)に行っております。私は、水戸市役所OBで、現在、会の三代目会長を務め、72歳です。

<写真>(上)勢ぞろいした会員のみなさん(2013年5月8日)。(下)車イスの清掃・整備をする会員のみなさん(2012年11月25日)



第8回連合・ILEC「幸せさがし文化展」(書道の部)

森下さんが

全印刷局
退職者の会

ILEC 大賞

退職者連合の仲間から 51 点

2年ごとに開催される連合定期大会にあわせ、連合や教育文化協会(ILEC)などが主催する「幸せさがし文化展」の応募結果と入賞等が発表されました。第8回目となった文化展は、絵画、書道、俳句、川柳の5部門で実施され、応募総数 3,308 点となりました。退職者連合関係では 51 点の応募がありました。内訳は絵画 2 点、写真 5 点、書道 5 点、俳句 16 点、川柳 23 点です。

審査の結果、書道の部で全印刷局退職者の会の森下桂石(本名・森下克己)さんが ILEC 大賞を受賞しました。

<受賞喜びの声>

ILEC 大賞受賞の

森下桂石さん

(本名・森下克己)



この度は、はからずも未熟な私の作品が ILEC 大賞に入賞とのご通知をいただき、誠に身に余る光栄に存じ、感激ひとしおです。私は現在 86 歳で

書道に親しんで 60 有余年、専ら古碑法帖を机辺に、ほとんど独学で蝸牛(かぎゆ:かたつむり)の歩みが続けております。今回の作品は、九成宮醜泉銘(きゅうせいきゅうれいせんめい:唐・歐陽詢の書)を紺紙に金泥に臨書したものです。現在、師をもたない私にとって、このような「幸せさがし文化展」への出品は、いつも暗中模索の中での制作です。今回の受賞を一つの励みとして、労骨に鞭打ってまだまだ元気を出して、古典の追求と自己の人間修養に励む覚悟でおります。

◇ ◇

退職者連合関係の各入賞者は以下の方々です。

○シニア特別賞

<書道の部> 沖田正志さん
(日産エルダークラブ)

<川柳の部> 加差野清浪さん
(郵政退協)

○各賞

<絵画の部・入選>

市川貞夫さん(日産エルダークラブ)、下原彰禮さん(日産エルダークラブ)

<写真の部・秀作>

山中春代さん(UAゼンセンシニア友の会)

<同・入選> 池上達男さん(UAゼンセンシニア友の会)、岩城茂孝さん(NTT 労組退職者の会)

<書道の部・秀作>

今泉敏雄さん(NTT 労組退職者の会)

<同・入選>

西山裕三さん(日産エルダークラブ)

<俳句の部・佳作>

植原ツギ子さん(NTT 労組退職者の会)

教育文化協会の木村裕士専務理事は、今回の実施結果について「退職者連合の会員みなさんからも多くの応募がありました。次回は2年後になりますが、シニア特別賞も設けておりますので、退職者連合のみなさんからの作品応募をお待ちしています」と述べました。

80 歳以上の応募 245 点

今回から 80 歳以上を対象にした「シニア特別賞」が設けられ、一般応募含む 245 点の作品が寄せられました。内訳は絵画 8 点、写真 19 点、書道 16 点、俳句 82 点、川柳 120 点。

◇ ◇

表彰式・展覧会は、以下の通り

○表彰式

連合第 13 回定期大会

とき: 10 月 4 日

ところ: 東京国際フォーラム A

○展覧会

<第 1 回>

とき: 10 月 3 日(木) ~ 4 日(金)

ところ: 東京国際フォーラム A

<第 2 回>

とき: 10 月 14 日(月) ~ 20 日(日)

ところ: NHKふれあいホール・

ギャラリー

<第 3 回>

とき: 11 月 1 日(金) ~ 7 日(木)

ところ: 全労済ホール